Ⅲ. 水 質 事 故 発 生 状 況

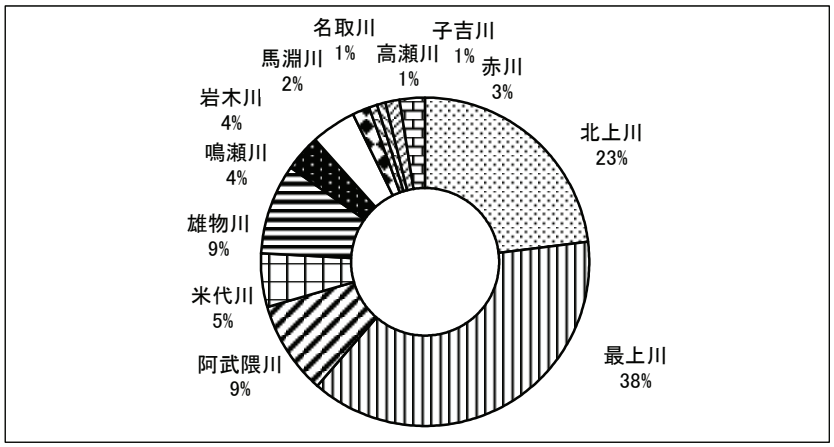
◎水質事故は、年間４２４件発生（前年より約３割増加）！
北上川水系(岩手県)では 8,000L の重油が流出し、取水停止！(H17.4.6 発生)

平成１７年１月から１２月までに、取水に対して影響を与えるおそれがある水質事故は、１８９件発生しました。このうち、１１件で取水が停止し、なかでも**平成１７年４月６日に北上川水系和賀川（岩手県北上市）で発生した、温泉施設からの重油流出(8,000L)による水質事故では、上水道・工業用水の取水停止**を伴い、油回収等の事故処理が長期化しました。

その他の事故については、水質汚濁対策連絡協議会の関係機関の対応により、取水停止を伴う重大事故には至りませんでした。

なお、**規模の小さいものまで含めた場合**には、**ここ数年で最も多い４２４件**の水質事故情報が東北地方整備局に寄せられました（平成１６年は３２４件で、**約３割の増加**）。

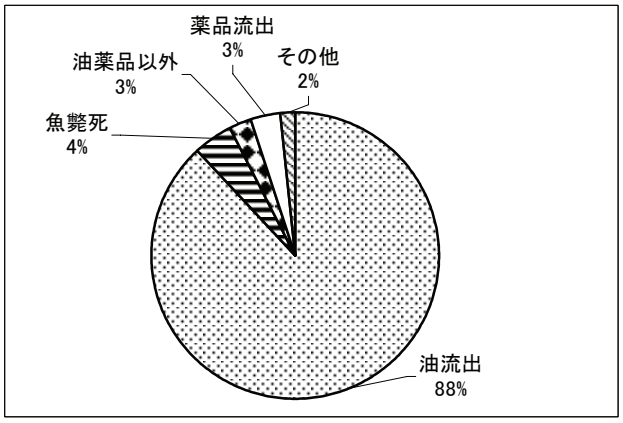
水系別では、図－３のとおり、北上川、最上川、阿武隈川で全体の約７割を占めました。



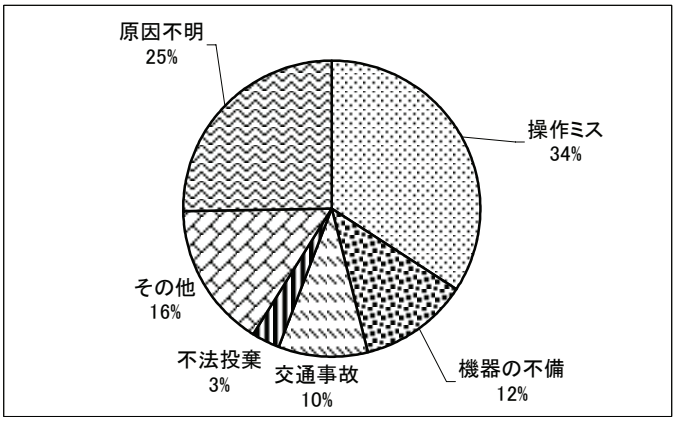
図－３　水系別水質事故発生状況

◎水質事故の原因は、９割が油の流出、５割が人為的ミス

事故を原因物質別でみると、昨年同様、**油の流出事故が最も多く、全体の９割近く**を占めました（図－４）。原因別にみると、操作ミスと機器の不備を合わせた**人為的な不注意によるミスが全体の約５割**を占めました（図－５）。



図－４　事故種類別発生状況



図－５　事故原因別発生状況